

Press Release



2018年5月10日

コベストロジャパン株式会社

このプレスリリースは4月26日にドイツ・コベストロ社が発表したものを日本語に翻訳したもので、報道関係者各位へ参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。原文は www.covestro.com をご参照ください。

グループの売上高と EBITDA が第 1 四半期に大幅に増加

コベストロ、好調な業績を継続

- グループの売上高は 5.4%増の約 38 億ユーロ
- 主要製品の販売量は高水準を維持
- EBITDA は約 25%増の約 11 億ユーロ
- 純利益は 37.6%増の 6 億 4 千 4 百万ユーロ
- フリー・オペレーティング・キャッシュフローは 72.5%増
- 2018 年通年のガイダンスは変更なし

ドイツ・レバクーゼン、2018 年 4 月 26 日ー

素材メーカーのコベストロは、2018 年も好調なスタートを切り、力強い成長を続けています。安定した需要と価格の上昇により、第 1 四半期の売上高は 5.4%増の約 38 億ユーロとなりました。売上高の増加は、主としてポリウレタン事業とポリカーボネート事業の伸びによるものです。主要製品の販売量は、前年同期の例外的な伸びと比べると安定した状態を維持しました。EBITDA は約 11 億ユーロで、前年同期比で 25.7%増となりました。純利益は 37.6%増の 6 億 4 千 4 百万ユーロとなりました。フリー・オペレーティング・キャッシュフロー (FOCF) は 72.5%増の 3 億 6 千 4 百万ユーロでした。



「第1四半期は好調なスタートとなり、通年でも好調を維持する見通しです。主要製品の販売量を高水準で維持しながら、他の主な指標すべてにおいても、非常に好調であった前年同期からさらに大幅に向上しました」と、コベストロのチーフ・コマーシャル・オフィサー（CCO）であり、次期最高経営責任者（CEO）のマーカス・スタイレマンは述べています。

「当社は、持続可能なソリューションや優れた素材への需要の高まりによって、継続的に利益を得ることができています。引き続き、優れた特性を持つ利益率の高い製品に注力していきます」とスタイレマンは業績結果を振り返りました。

その好例として、今年3月にコベストロがマルクト・ビーバルト（ドイツ）で新素材の商業生産を開始したことが挙げられます。連続繊維強化熱可塑性樹脂（CFRTP）は、超軽量で金属のような特性を持つ素材です。高強度の軽量素材は、多種多様なアプリケーションにおいてエネルギー消費を抑え資源保全にも貢献することから、世界中で需要が高まっています。コベストロは、この優れた新素材の生産能力拡大に向けて、合計で2桁台半ば百万ユーロを投資しています。

また、コベストロはデジタル化戦略によって新たな事業展開に取り組んでおり、最近では中国のオンライン商取引大手であるアリババとのコラボレーションを開始し、現在は中国最大の企業間商取引サイトであるアリババのオンラインプラットフォームで自社素材を提供しています。中国市場の顧客は、covestrochina.1688.com のリンクから、コベストロ製品をより簡単に入手できるようになりました。

ポリウレタン事業とポリカーボネート事業における増益

一 塗料・接着剤・スペシャリティーズ（CAS）事業で高い利益率を維持

ポリウレタン事業の第1四半期の売上高は、7.1%増の19億5千万ユーロとなりました。この成長は主にすべての地域における価格上昇によるものであり、主要製品の販売量の1.0%減や為替レートの変動によるマイナス効果を相殺しました。EBITDAは36.1%増の6億3千7百万ユーロとなりました。高い利益率がプラス効果をもたらしました。

ポリカーボネート事業の売上高は、8.3%増の10億3千3百万ユーロを記録しました。販売価格の上昇傾向によって売上高が増加した一方で、為替レートの変動はマイナス効果を及ぼしました。主要製品の販売量は、2017年の第1四半期比で2.7%増となりました。EBITDAは3億3百万ユーロで、前年同期比で30.6%増となりました。



塗料・接着剤・スペシャリティーズ事業では、第1四半期の売上高が前年同期比で7.1%減の5億9千2百万ユーロとなりました。この売上高の減少は、為替の影響と、前年同期の力強い主要製品の販売量に対し1.3%減となったことが主な原因です。他の事業と同様に、販売価格が売上高にプラス効果を及ぼしました。EBITDAは、販売量の減少、為替のマイナス効果、また原材料費の増加により、15.0%減の1億3千6百万ユーロとなりました。一方で、EBITDAの利益率は23.0%と高水準を維持しました。

自社株取得：第1回目を完了

2017年秋に開始された自社株取得プログラムの第1回目は、2018年2月末に完了しました。これまでに、株式資本の2.2%に相当する約450万株、総額4億ユーロを取得しています。次回の自社株取得は間もなく開始予定です。昨年10月26日にコベストロは、最大15億ユーロ、または最大10%の自社株取得を開始することを発表しました。

2018年通年のガイダンスは変更なし

第1四半期の好調な業績に基づき、コベストロは2018年通年のガイダンスを変更しません。「堅調な需要の継続、また効率的な投資に支えられる中で、当社は販売量のさらなる有機的成長を目指します。また同時に、この1年を通して多くの製品グループの価格が正常化すると予測しています。全体としては、好調な業績を維持できると見込んでいます」と、2018年4月1日よりコベストロの最高財務責任者（CFO）を務めるトーマス・トゥプファーは述べています。

コベストロは主要な顧客産業において期待されている成長の機会を引き続き最大限に生かすため、今後数年間で投資を大幅に拡大する予定です。この投資は、すべての事業と地域を対象とし、減価償却値を超える見込みです。

コベストロは2018年における主要製品の販売量の伸び率を、1桁台前半から半ばであると予測しています。フリー・オペレーティング・キャッシュフローは過去3年間の平均を大幅に上回り、使用資本利益率（ROCE）は2017年の水準に達すると予測しています。EBITDAは2017年の水準と同等になることを見込んでいます。コベストロは、2018年第2四半期のEBITDAが前年同期を上回ることを予測しています。

.....

コベストロ社について

コベストロ社は2017年売上高が141億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、



高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、建築、木材加工や家具、電気・電子、スポーツ・レジャー、コスメティック、ヘルス、そして化学の各産業です。コベストロ社は、世界中の 30 拠点に生産施設があり、社員数は 2017 年末で約 16,200 人です。詳しくはこちらをご覧ください。 covestro.jp

【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-7-6 クロスプレイス浜松町 7F

広報部 梅澤 Tel:03-6403-9112 / Fax:03-3436-1540



コベストログループの主要データ

	2017年	2018年	前年比
	第1四半期	第1四半期	
	(百万ユーロ)	(百万ユーロ)	%
主要製品販売量	+8.9%	0.0%	
売上高	3,586	3,779	+5.4
売上高差異			
販売量要因	+9.9%	-1.7%	
価格要因	+13.4%	+14.3%	
為替要因	+1.4%	-7.2%	
製品構成要因	0.0%	0.0%	
EBITDA ^{※1}	846	1,063	+25.7
EBIT ^{※2}	688	907	+31.8
当期純利益	468	644	+37.6
フリー・オペレーティング・キャッシュフロー	211	364	+72.5

※1 金利・税金・償却前利益

※2 金利・税引前利益

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、コベストロ社による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれている可能性があります。さまざまな既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト (www.covestro.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。